

2020年 6月 29日

2019年度 校友会 活動実績報告書

(女子バレーボール)部・同好会

顧問名 (力石絵美香・野村健太郎・大澤滋)

活動方針 : 本部活動においては、一切の体罰・暴力を行いません。

バレーボールを通して、己を磨き他者を思いやれる人間の育成を目指します。

活動報告(上記の活動方針を下に取り組んだ1年間の総括)

【大会結果報告】

春季リーグ戦兼春季大会 リーグ1位・春季I部大会 1回戦敗退

東京都総体兼全日本高校生選手権予選 3回戦敗退

高体連夏季大会 3回戦敗退(ベスト64)・私学夏季大会 2回戦敗退

新人リーグ戦兼新人選手権大会 リーグ2位・新人選手権I部大会 1回戦敗退

私学冬季大会 3回戦敗退(ベスト32)

第8ブロックバレーボールフェスティバル(春・夏・冬)参加

テクノスカレッジ大会(秋・冬)参加

3年生3名、2年生7名、1年生7名で活動して参りました。

3年生がプレイヤー2人、マネージャー1人という少ない人数の中、下級生14人を引っ張っていき、3年生の掲げる目標を達成することができた。これは、3年生の中で大きな自信となった。

3年生引退後、2年生主体のチームへ再編成していく中、1人1人の余裕がなくなり、コミュニケーションが不足することでうまくいかないこともあったが、過去を教訓にそれぞれが努力し、チーム力向上に貢献できていると感じた。

その結果、高体連では東京都ベスト64、私学ではベスト32と好成績をおさめることができた。

バレーボールプレイヤーの前に人としてどうあるべきかを常に考え活動をしてきた。バレーボールを通して、部員それぞれの成長が見られたと実感している。